

企画書の作成について

【注意事項】

1 企画書の様式

提案者の任意の様式としますが、印刷するため、A4横で作成し、以下（1）及び（2）の構成で企画書を作成してください。

（1）表紙・目次

表題として「令和7年度 大学発スタートアップ創出支援事業 企画書（事業ステップアップ支援）」、「大学名等」及び「目次」を記載してください。

（「表紙・目次（例）」を参考に作成してください。）

（2）提案内容

「審査の視点、記載いただきたい事項」を参考に、項目別に作成してください。

なお、提案資料の上部に「項目番号と項目」、下部に「ページ番号」を記載してください。

※ 複数大学等のグループでお申し込み場合等は、その役割等が分かる体制図を企画書に盛り込んでください。

2 フォントは自由としますが、企画書の本文記載は12ポイント以上の文字の大きさとしてください。（図表等に関する文字の大きさはこの限りではありません。）

3 企画書全体で20ページ以内としてください。

4 プレゼンテーション審査では、本企画書のみを使用していただきます。説明時間10分間（質疑応答を除く。）を目安として、作成してください。

なお、プレゼンテーション当日、追加で資料配付はできません。

令和7年度 大学発スタートアップ創出支援事業 企画書 （事業ステップアップ支援）

〇〇大学

【目次】

1	ビジョン・目標	P.〇
2	実施計画・KPIの設定	P.〇
3	スタートアップ創出への将来性	P.〇
4	実施に向けた主体性	P.〇
5	予算計画	P.〇

1 ビジョン・目標

審査の視点

本事業に取り組む長期的なビジョン・目標が明確であるか

提案全体を通じてロジックのある内容になっているか

公的支援を受けるにふさわしい内容であるか

「大学に眠るシーズを活かした大学発スタートアップの創出」という本事業目的の実現に資する内容であるか

大学間での情報共有と相互理解を促進し、大学全体のスタートアップ創出を加速させていく取組となっているか

【記載いただきたい事項】

- 大学発スタートアップ創出に向けた自組織における長期的なビジョン・目標
- ビジョン・目標の達成に向けた現状と課題
- 協定期間内における取組の概要
- 連携を想定している大学や連携の仕方、ノウハウの共有方法

以下の①、②が想定されるが、①の記述は必須ではない（ただし加点要素になり得る。）。

- ①大学等が、ナレッジシェア勉強会、研究成果発表会、インキュベーション施設等の共同利用、複数大学とのビジネスコンテストといった複数大学との連携を設定した場合
- ②コーディネーターが設定する「令和7年度採択大学の大学間連携の促進を目的としたイベント等」に参加する場合

2 実施計画・KPIの設定

審査の視点

長期的なビジョン・目標達成に向けた、具体的かつ実効性の高い計画か

大学等の置かれた現状を踏まえた実現可能性の高い実施内容か

本事業終了後も継続して成果を創出できる計画となっているか

他の大学との連携（情報の共有、人材、施設、資金等の共同利用などにより、ノウハウの共有化が図られること）要素が含まれているか（含まれていれば、加点）

目標の達成に向けた適切なKPIが設定されているか

KPIの達成を見込むことのできる取組となっているか

本事業による支援の必要性があるか（支援がなくとも容易に達成できるKPIとっていないか）

【記載いただきたい事項】

- ビジョン・目標達成に向けてどのような取組が必要で、協定期間内にはどのような取組を行っていくか（目標達成に向けた2か年度の実施計画）
- 実施計画を踏まえ、様式「KPI設定説明書」記載した内容の詳細説明
- KPIとビジョン・目標の紐づけ（設定したKPIの達成が、ビジョン・目標の達成にどう寄与するかについての説明）
- 募集要項7 KPIの設定・評価について（1）のKPI全体の設定例に従って記入してください。

3 スタートアップ創出への将来性

審査の視点

大学等が発掘しようとしているシーズやアイデアは、事業化や起業につながる可能性を有しているか

大学等が発掘しようとしているシーズやアイデアは、社会課題の解決やイノベーションの創出が期待できるインパクトを有するか

これまで支援に取り組んできたシーズやアイデアは、各種施策の課題を捉え、シナジーを生む提案となっているか

【記載いただきたい事項】

- 学内の研究力、強みとなる技術分野、シーズ、アイデアに関するPR等

4 実施に向けた主体性

審査の視点

コーディネーターを含め外部の支援も受けながら、大学等の役割を主体的に果たすことのできる体制が構築されているか

(グループでの応募の場合)

各主体が十分に連携して事業を推進する体制となっているか

【記載いただきたい事項】

- 事業実施に当たっての体制図、各部署の役割や責任の範囲等
- 他ステークホルダーとの連携体制
- グループでの応募の場合は、各主体の役割等が分かる体制図

5 予算計画

審査の視点

KPIの達成に向けて、適切な申請額が設定されているか

【記載いただきたい事項】

- 「2 実施計画・KPIの設定」で、設定したKPI項目ごとの申請額及び全体の申請額（KPI項目ごとの申請額の合計）

【1 大学等あたりの各年度の申請額上限（税込）】

令和7年度：3,000万円、令和8年度：6,000万円

5 予算計画

(下表はあくまで一例です)

	実施計画	KPI				主な必要経費	申請額(円・税込)
令和7年度	シーズ掘り起こし	1	ピッチイベント開催	○	件	ブース出展費用、広告費	
		2	PoCの実施	○	件	…	
		3	マーケットリサーチの実施	○	件	…	
	研究開発	1	共同研究に必要な 人材の雇用	○	人	…	
		2	アクセラレーターとの マッチング	○	件	…	
	…	…	…	…	…	…	
	合計 (令和7年度分)						
令和8年度	大学間連携	1	ナレッジ勉強会	○	回	…	
		2	共同ピッチコンテスト	○	人	…	
	○○	3	○○	○	件	…	
		3	○○	○	件	…	
		4	○○	○	件	…	
	…	…	…	…	…	…	
	合計 (令和8年度分)						
合計 (申請全体)							